

○金属成分：総水銀とアルキル水銀

内野栄治

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.246-252

水試料中の総水銀とアルキル水銀の定量について，代表的な分析法である還元気化・冷原子吸光法とベンゼン抽出ーガスクロマトグラフ法を取りあげ解説した。

○非金属成分：フッ化物イオン

内野栄治

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.275-280

水試料中のフッ素の定量について，代表的な分析法であるランタンーアリザリンコンプレクソン法を中心に解説した。

○水質調査の事例：温泉の分析

内野栄治

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.413-424

現地における温泉分析に必要な基本的な項目について概説し，温泉分析の具体例として，2000年有珠山噴火が周辺の温泉の泉質に及ぼした影響の経年変化について述べた。

○金属成分：ナトリウムとカリウム

佐藤千鶴子

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.205-209

陸水等の環境水試料に含まれるナトリウム及びカリウムについて，原子吸光法及び炎光光度法による分析法を詳細に解説した。

食品薬品部

○有機物：農薬（有機リン化合物）

兼俊明夫

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.333-340

水試料中の有機リン農薬の分析法について，GC及びGC-MS法を中心に解説した。

○有機物：ダイオキシン

平間祐志

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.359-366

環境水に含まれるダイオキシン類の分析法について，抽出，クリーンアップ，ダイオキシン類の分画方法に分類してわかりやすく解説した。また，GC-MSによるダイオキシン類の分析法についても内部標準法を中心として解説した。

○有機物：PCB

平間祐志

日本分析化学会北海道支部編，水の分析 第5版，化学同人，京都，2005，pp.366-372

209種類のPCB異性体，同族体の分析法について，抽出，クリーンアップ法を解説すると共に，GC-MSによるPCBの分析法についても“PCB溶出window決定標準物質”を用いた方法についてわかりやすく解説した。

○アイヌ民族の伝承有用植物Ⅴ ー薬用植物編1ー

姉帯正樹

薬用植物研究，27(2)，19-27(2005)

アイヌ民族が伝統的に薬用とした植物のうち，イケマ，エブリコなど20種について，アイヌ語名，利用部位，利用法，現在の一般的な利用法などを簡単に紹介した。

○アイヌ民族の伝承有用植物Ⅵ ー薬用植物編2ー

姉帯正樹

薬用植物研究, 27 (2), 28-35 (2005)

アイヌ民族が伝統的に薬用とした植物のうち、ウペウと称されるセリ科植物など 20 種について、アイヌ語名、利用部位、利用法、現在の一般的な利用法などを簡単に紹介した。

○有毒植物による食中毒について

姉帯正樹

薬用植物研究, 27 (2), 36-46 (2005)

北海道において有毒植物を山菜と間違えて食べた食中毒事例を中心に解説し、未然に防ぐための行政の取り組みを紹介した。本稿は平成 16 年度全道食品環境衛生研究発表会において特別講演した内容である。

微生物部

○Human Immunodeficiency Virus-associated Non-Hodgkin Lymphoma

Bruce SHIRAMIZU¹⁾, Motohiko OKANO and Thomas G. GROSS²⁾

Progress in AIDS Research, A. P. Liberman, (Ed.), Nova Science Publishers Inc. Hauppauge, New York, Chapter 3, 61-79 (2005)

ヒト免疫不全ウイルス感染における非ホジキンリンパ腫の発生に関し、ウイルス学・免疫学・細胞遺伝学などの観点から解説し、治療法について言及した。

¹⁾ハワイ大学医学部, ²⁾オハイオ州立大学医学部

○原発性免疫不全症候群

岡野素彦

山口 徹, 北原光夫編, 今日の治療指針 2006 年版「私はこう治療している」, 医学書院, 東京, 2006, pp.991-992

原発性免疫不全症候群における根治的治療, 感染症治療, 予防的治療に関し, 最新の知見及び経験を紹介し, 具体的な方法に関し言及した。

○微生物：レジオネラ属菌

森本 洋

日本分析化学会北海道支部編, 水の分析 第 5 版, 化学同人, 京都, 2005, pp.397-402

環境水中のレジオネラ属菌検査方法について示した。

生物科学部

○日本と極東ロシアのダニ媒介性脳炎ウイルスの系統解析と病原性

高島郁夫¹⁾, 早坂大輔²⁾, 後藤明子, 好井健太郎¹⁾, 荻和宏明¹⁾

ウイルス, 55, 35-44 (2005)

北海道と極東ロシアで分離されたダニ媒介性脳炎ウイルスの系統解析の結果について解説した。また, 弱毒変異株や感染性 cDNA クローンをを用いたダニ媒介性脳炎ウイルスの病原性に関する研究について紹介した。

¹⁾北海道大学大学院獣医学研究科, ²⁾長崎大学熱帯医学研究所

○微生物：一般細菌

高野敬志

日本分析化学会北海道支部編, 水の分析 第 5 版, 化学同人, 京都, 2005, pp.387-390

環境水に含まれる一般細菌数の測定方法について示した。

○微生物：大腸菌

高野敬志

日本分析化学会北海道支部編, 水の分析 第 5 版, 化学同人, 京都, 2005, pp.391-396

環境水に含まれる大腸菌の特定酵素基質培地法, LB-BGLB 法及びデスオキシコール酸塩寒天培地法による検出方法について示した。